

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すてっぴ天久1		公表日		令和 8年 3月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5名	1名	活動等によって活動スペースを設定し、取り組んでいます。	活動のスペースは近隣の公園等で補えておりますが、複数の児童が気持ちを切り替えられるスペースの確保に課題があるため、今後改善してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6名		基準人員数を配置しています。職員増員の為、求人募集中です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6名		入り口が狭い為、車椅子の児童等の入室が難しいです。支援を行う際、視覚化で分かりやすく出来る様に、掲示物やホワイトボードを活用しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6名		活動スペース全体に空気清浄機を設置し、毎日の提供時間終了後に、必ず清掃を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6名		パーティション等を使用し、視覚的を仕切る等の工夫を行っています。今後も環境作りに努力していきます。	完全に区切られている個室の場所が、事務所内のみになっており、対応中の際には、完全個室の場所がない状況になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5名		日々の活動に関する一連のプロセスとして、繰り返し行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5名	1名	保護者様の評価表をまとめ、職員全体で会議を行い、業務改善に繋げてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6名		朝礼・終礼時や支援会議等にて職員の意見を取り入れながら、記録を残し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5名	1名	第三者による、評価結果により、業務改善が必要と判断された場合は、速やかに業務改善に取り組んでいきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6名		虐待防止研修や、感染症対策の為の研修等の研修を行っています。	研修の機会を、設けているが、法人からの研修案内のみではなく、職員の実践研修等にも、取り組んでいきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6名		アセスメントを行い、ニーズや課題を分析し、支援プログラムを作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6名		特性や疾患・障がい等も考慮しながら話し合いを行い、児童発達支援管理責任者が作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6名		個別支援会議を開き、支援計画(原案)を職員全体で確認しながら、全員で支援に取り組む意識を持っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6名		保護者様へ説明後にサインを頂き、職員会議にて、職員全体にも計画を共有し、支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6名		関係機関のツールを抜粋して、実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6名		児童の特性等を、職員間で話し合いながら、ご本人様への必要な支援を設定しています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6名		職員全体での会議にて、毎月の活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6名		季節の行事や、事業所でのイベント(誕生会など)を取り入れながら、5領域を踏まえた活動プログラムを毎月行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6名		児童の年齢や特性を踏まえ、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6名		サービス提供時間前に、前日の振り返りを必ず行い、ご利用者の様子や特性の再確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6名		サービス提供時間終了後には必ず終礼を行い、支援内容や活動プログラム時のご利用者様の様子について振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6名		日々、ご利用時の様子を記録し職員間での会議等で活用することで、支援内容の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6名		モニタリングを開き、職員全員で見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6名		放課後等デイサービスガイドラインに則り、支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5名	1名	自己選択が出来る様な活動として、買い物体験等を取り組んでおり、本人のおやつを決めてもらう等支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6名		児童発達支援管理責任者が参加しているが、会議の時間によって、他職員も同席する事もあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5名	1名		関係機関との連携を強化していけるよう、各関係機関との定期的な会議等を設ける機会を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6名		送迎時には、行事予定の確認や下校時刻の確認、トラブル時の共有などを随時行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6名		就学前、関係機関で事前に情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6名		卒業後の進路等、関係機関での会議を行い、支援内容や児童の特性について、情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4名	2名		スーパーバイザーとの連携を持ち、助言や研修を受ける事が出来る様に、連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5名	1名	法人内の事業所での交流を行う事は出来ました。	適時開催されている学童等でのイベントを検索し、活動を行える機会を企画していきたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3名	2名		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5名	1名	帰りの送迎時や電話連絡などを通してお子様の様子を共有し、共通理解が持てるようにしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5名	1名		ペアレントトレーニングの研修の受講案内の際に、保護者への、十分な説明をしっかりと行い、情報提供を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6名		契約の際、保護者様へ事業所へお越しいただき、時間をかけて説明しています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6名		お子様や、保護者様への聞き取りを定期的に行い、意向をしっかりと汲み取りながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6名		保護者様へは、児童発達支援管理責任者より説明を行い、同意を得たうえでサインを頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6名		保護者様と、定期的に連絡を取り合いながら、悩みなどの相談があった際は、助言を行い、支援に繋がっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6名		今年度、12月に1度開催する事が出来ました。	今後も、保護者様同士が交流できる機会を企画し、地域資源等も活用しながら取り組んでいきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6名		相談内容によって、関係機関と連絡を取り合いながら、保護者様と解決に向けて取り組んでいます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5名	1名		Googleや、HPIに活動の様子などを掲載しているが、今後は活動予定等も掲載していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6名		鍵付きのロッカーに、個人情報は保管し、必要な場合にのみ、取り出すようにしている。また、HP等に載せる写真等も、保護者へ確認し、許可を頂いた方のみ、載せています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6名		特性の部分を、職員全体で意識しながら、お子様や、保護者様が、伝えやすい環境を整え、対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2名	4名		地域との連携を、取りながら、事業所や法人での企画を考えていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6名		各種マニュアル策定し、職員全体への周知を行い、月間の行事に組み込んで訓練を実施しております。	地域の方をご招待出来る様な行事が行えておりません。今後、ご招待できる行事を検討し実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6名		定期的に、各非常事態の発生を想定しながら、机上訓練等も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6名		お子様の発作時の対応や、服薬時のタイミング等、保護者様へ細やかに確認し、対応を統一しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6名		アレルギーの疑いがあるお子様がいらっしゃるようですが、医師の診断書等はない為、保護者様と確認し、疑いがある食材は提供せず、その食材にを掲示して提供防止に努めています。	医療行為が行える職員が配置できない為、医療ケアが必要なお子様の利用が難しい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6名		安全計画作成済みです。安全管理を十分に行い、お子様や、保護者様が、安心してご利用いただける支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6名		安全計画に基づき、年間の避難訓練や、研修などを行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6名		ヒヤリハット集をクラウド上で作成し、職員全体で共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6名		虐待防止研修を会社全体で開催し、虐待防止に対する意識を強く持ち、支援を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6名		身体拘束を行う際の指針を定め、必要性がある場合には必ず保護者様やお子様十分に説明を行い、同意を得たうえで個別支援計画に記載して実施しています。	